

(問題 1 の続き)

- イ) 地層の層理面に対して直交しており、地層の側方への大幅な変位がみられる。約 1km 以上ずれた横ずれ断層である。
- ウ) 断層に沿って変成岩や花こう岩などの地下深部の岩石が露出し、断層面にみられる線構造より変成コアコンプレックスを作る低角度正断層である。上盤側が東側に約 500m ずれている。
- エ) もともと高角度正断層であったが、堆積岩堆積後の大きな地殻変動のために現在ではリトリック正断層になっている。下盤側が東に約 1km ずれている。

4) a~d 地点では長さ 450m のコアが垂直に掘削されている。コアサンプルの回収率はほぼ 100%で、断層を含んで層序が保存されていた。図 3 はそれぞれの地点における掘削コア柱状図である。掘削地点 (a ~ d) に対応する掘削コア柱状図を図 3 の 1~4 から選び、記号で答えよ。

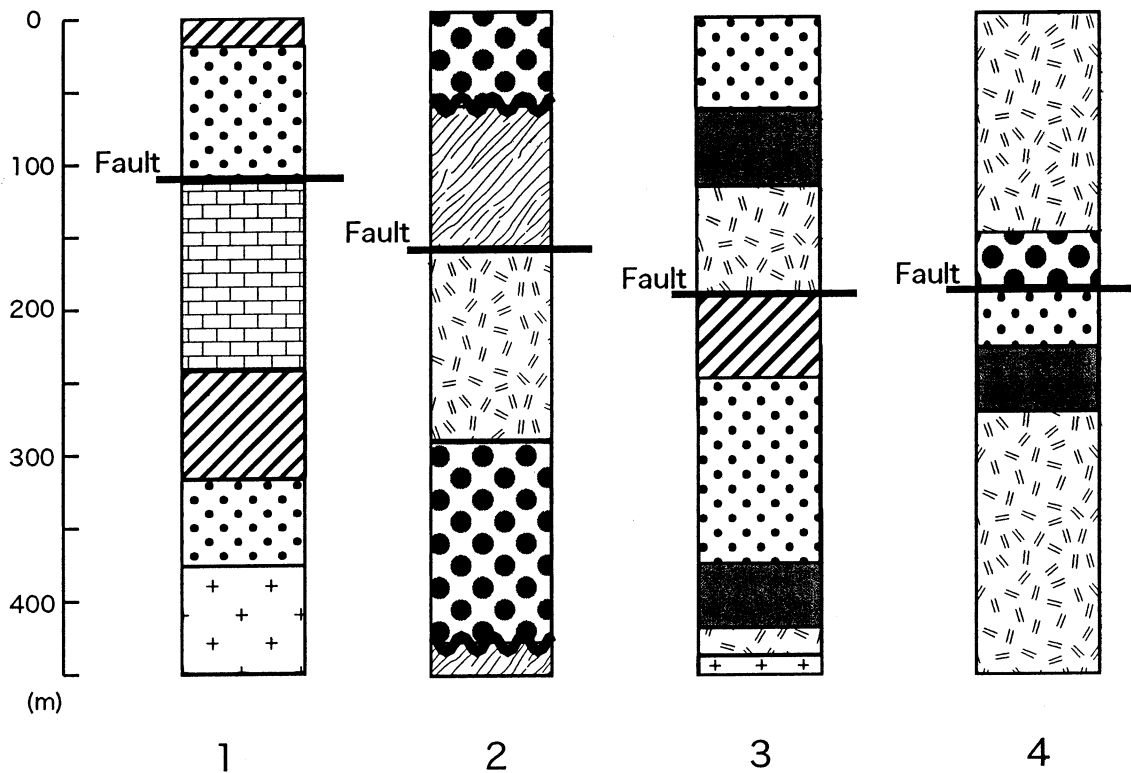


図 3 長さ 450m の掘削コア柱状図。(凡例は図 2 に従う)

5) 本地域に分布する堆積岩の層序を復元し、柱状図を作成せよ。